

男の子、天での戦い、勝利を得る聖徒たち (the Overcoming Saints)

勝利を得る聖徒たち (すでに勝利者となった者ではなく、勝利するように訓練し、今、勝利を経験している者)

聖書：啓 12:5, 7-11

各題目と重要な御言葉	
男の子	啓 12:5 <u>彼女は一人の子、男の子を産んだ</u> 。この子は鉄の杖で、すべての諸国民を牧養することになっている。彼女の子供は、神に、神の御座に携え上げられた。
天での戦い	啓 12:7 さて、 <u>天では戦いがあった</u> 。ミカエルとその御使いたちが、龍と戦ったのである。龍とその使いたちは戦った。 啓 12:9 こうして、その大きな龍、あの太古の蛇、「悪魔」とか「サタン」とか呼ばれる者、人の住む全地を欺く者は、 <u>投げ落とされた</u> 。彼は地に投げられ、その使いたちも彼と共に投げ落とされた。
勝利を得る聖徒たち 敵を撃ち破り 王国をもたらす	啓 12:10 ……今、わたしたちの神の救いと力と <u>王国</u> と、彼のキリストの <u>権威</u> とが来た。わたしたちの兄弟たちを訴える者、昼も夜もわたしたちの神の御前に彼らを訴える者が、 <u>投げ落とされた</u> からである。 啓 12:11 兄弟たちは、小羊の血のゆえに、また彼らの証しの言のゆえに、彼に打ち勝った。彼らは死に至るまでも、自分の魂の命を愛さなかった。

男の子、天での戦い、勝利を得る聖徒たち			
I	男の子	A	男の子を「産んだ」
		B	男の子の意義
		C	男の子の携え上げ
II	天では戦いがあった	A	男の子の戦い——天へと携え上げられた後に戦いが起こる
		B	戦いの対象——龍とその使いたち
		C	戦いの結果——サタンに対する主の裁きを執行する
III	勝利を得る聖徒たち	A	小羊の血のゆえに——サタンの訴えに打ち勝つ
		B	自分の証しの言葉のゆえに——キリストの勝利についての霊的事実を宣言する
		C	死に至るまでも、自分の魂の命を愛さない——天然の能力は十字架の対処を受ける

朝食(第 44 週)		男の子、天での戦い、勝利を得る聖徒たち	
日	段落 思想流れ	主題	要点
1	男の子	女が男の子を産むことと、男の子の携え上げ	女は一人の子、男の子を産んだ 男の子の携え上げ
2	天での戦い	男の子の戦い	天へと携え上げられた後に戦いが起こる 敵を打ち破る最も有効的な方法
3		男の子の戦いの結果	サタンに対する主の裁きを執行する 神は男の子によってサタンに対する判決を執行します
4	勝利を得る聖徒たち	小羊の血のゆえにサタンの訴えに打ち勝つ	罪を告白し、小羊の血を適用する 神の照らしとサタンの訴え
5		自分の証しの言葉のゆえにキリストの勝利について宣言する	証しの言葉 キリストの勝利についての霊的事実を宣言する
6		死に至るまでも、自分の魂の命を愛さない	サタンと人の魂の命との結合 天然の能力が十字架の対処を受ける

I	男の子	A	男の子を「産んだ」
		B	男の子の意義
		C	男の子の携え上げ

女が男の子を産む

I. 「彼女は一人の子、男の子を産んだ。この子は鉄の杖で、すべての諸国民を牧養することになっている。彼女の子供は、神に、神の御座に携え上げられた」——啓 12:5 :

- A. ここの「産んだ」は、使徒行伝第 13 章 33 節から 34 節にあるように、復活を表徴します :
1. 男の子は、死んで復活させられた勝利を得た聖徒たちから成っています。
 2. これは、啓示録第 12 章 11 節の「死に至るまでも」という言葉で証明されます。

男の子の意義

- B. 聖書で、女は弱い者を表徴し、男は強い者を表徴します—— I ペテロ 3:7 :
1. 啓示録第 12 章における男の子は、神の民の強い部分を表徴します。
 2. 男の子が鉄の杖ですべての諸国民を牧養することは、第 2 章 26 節から 27 節で述べられたように、男の子が勝利者から成っていることを示しています。

啓 2:26 勝利を得る者、わたしのわざを最後まで保つ者には、諸国民を治める権威を与える。
 啓 2:27 彼は鉄の杖をもって、陶器を打ち砕くように、彼らを牧養する。それは、わたしもわたしの父から権威を受けたのと同じである。

男の子の携え上げ

- C. 携え上げられるとは、引き上げられることです :
1. 男の子の携え上げは、I テサロニケ第 4 章 17 節に述べられている大多数の信者たちの携え上げとは異なります。
 2. そこでは、大多数の信者たちが携え上げられるのは、空中に、最後のラッパ (I コリント 15:52. I テサロニケ 4:16) 、すなわち第七のラッパ (啓 11:15) の時です。
 3. ここで男の子が携え上げられるのは、神の御座に、千二百六十日の前、すなわち第五のラッパの前の第六の封印 (9:1) から始まる三年半 (四十二か月、12:14. 13:5. 11:2) の大患難の前です。

大患難の前
天で

啓示録第 7 章 9 節で暗示されているように、ある信者たちは第六の封印の前に天に携え上げられ始める。

歴代の殉教した、勝利を得た聖徒たちは復活させられ、神の御座に携え上げられる。
啓 12:5, 11. ビリビ 3:10-11

この時代に最初に熟した、勝利を得た信者たちは天のシオンの山に携え上げられる。
啓 14:1-5

この時代に生きたその他の勝利を得た信者たちはキリストの臨在に携え上げられる。
啓 3:10. ルカ 21:36. マタイ 24:39-42

大患難の終わるころ
空中で

歴代、死んだ大多数の聖徒が復活させられる。
(大患難の中で殉教した者たちを含む)。
(啓示録 20:4, 6. 15:2)

この時代に生きている大多数の聖徒は彼らと共に携え上げられ、空中で主に会う。神の大部分の収穫物が熟し、刈り取られる。

I テサロニケ 4:15-17. I コリント 15:51-52.
マタイ 25:1-12. 啓 14:14-16.
マタイ 13:30, 39

二人の証し人は復活し、天へ携え上げられる。
啓 11:11-12

II	天では戦いがあった	A	男の子の戦い——天へと携え上げられた後に戦いが起こる
		B	戦いの対象——龍とその使いたち
		C	戦いの結果——サタンに対する主の裁きを執行する

II. 「天では戦いがあった」——啓 12:7 前半:

男の子の戦い——天へと携え上げられた後に戦いが起こる

- A. 男の子が天に携え上げられた直後に、ミカエルとその御使いたちは、サタンに対して戦いを始めます：
1. これは男の子、すなわち神の民のうちの強い部分が、常に神の敵サタンとの戦いに従事していることを示しています。
 2. 彼らは絶えず地上でサタンと戦ってきました。
 3. 天は彼らがそこに到着するのを待って、サタンを天から投げ出すための戦いを起こします。
 4. 聖書は二人の御使いの名、ミカエルとガブリエルを啓示しています。
 5. ガブリエルは報告者であり、神の民に知らせをもたらします（ダニエル 8:16. 9:21-22. ルカ 1:19,26）。ミカエルは神の民のために戦う者です（ダニエル 10:13,21. 11:1. 12:1. ユダ 9 節）。

戦いの対象——龍とその使いたち

- B. 「龍とその使いたちは戦った」（啓 12:7 後半）。これらの使いたちは、墮落した天使たち、サタンに従って神に敵対した者たちであるはず（マタイ 25:41）。

戦いの結果——サタンに対する主の裁きを執行する

神は男の子によってサタンに対する判決を執行します

- C. 神の敵サタンは、主イエスによって十字架上で裁かれました——ヨハネ 12:31. 16:11：
1. その後、勝利を得た信者たちがその裁きを完成し、その宣告を執行する必要があります。
 2. サタンに敵対する勝利を得た信者たちによって戦われる戦いは、實際上、彼に対する主の裁きを執行することです。
 3. 最終的に、彼らの戦いによって、サタンは天から投げ出されます——啓 12:7-9。

III	勝利を得る聖徒たち	A	小羊の血のゆえに——サタンの訴えに打ち勝つ
		B	自分の証しの言葉のゆえに——キリストの勝利についての霊的事実を宣言する
		C	死に至るまでも、自分の魂の命を愛さない——天然の能力は十字架の対処を受ける

III. 「今、わたしたちの神の救いと力と王国と、彼のキリストの権威とが来た。わたしたちの兄弟たちを訴える者、昼も夜もわたしたちの神の御前に彼らを訴える者が、投げ落とされたからである。兄弟たちは、小羊の血のゆえに、また彼らの証しの言のゆえに、彼[悪魔]に打ち勝った。彼らは死に至るまでも、自分の魂の命を愛さなかった」——啓 12:10-11:

小羊の血のゆえに——サタンの訴えに打ち勝つ

- A. 兄弟たちは、小羊の血のゆえに、彼に打ち勝ちました：
1. サタンはわたしたちを訴えるかもしれませんが、しかし、わたしたちは神の御子イエス・キリストの血がすべての罪からわたしたちを清めると答えることができます——I ヨハネ 1:7。

I ヨハ 1:7 しかし、神が光の中におられるように、わたしたちが光の中を歩くなら、わたしたちは互いに交わりを持ち、御子イエスの血が、すべての罪からわたしたちを清めます。

2. わたしたちが告白し血を適用した後も、止まらないどのような外見上の罪定めも、神からの啓発ではなく、サタンの訴えです——9 節。

I ヨハ 1:9 もし、わたしたちが自分の罪を告白するなら、神は信実で義であられるので、わたしたちの罪を赦し、すべての不義からわたしたちを清めてくださいます。

3. わたしたちは理由のない訴えを拒絶するだけでなく、理由のあるすべての訴えも拒絶しなけれ

- ばなりません。
4. 罪を犯すとき、わたしたちは神の栄光を現しません。しかし、尊い血に信頼しないとき、さらに一層彼を侮辱することになります——マタイ 26:28. 参照、ヘブル 10:29。
 5. わたしたちは常に血を適用し、完全ではないにしても、尊い血の下にいるのであると、悪魔に告げなければなりません——I ペテロ 1:18-19. 使徒 20:28。

証しの言葉のゆえに——キリストの勝利についての霊的事実を宣言する

B. 兄弟たちは、証しの言のゆえに、彼に打ち勝ちました：

1. 「証し」とは、キリストの中には何があるかを他の人々に告げることであり、また証しの言葉とは、口に出して語られなければならないものです。
2. 勝利者は頻りにキリストの勝利を宣言して、悪魔が主に裁かれたことを証ししなければなりません——I ヨハネ 3:8. ヘブル 2:14。
3. サタンは、わたしたちが彼と論じ合おうとするときは恐れませんが、わたしたちがキリストの勝利についての霊的事実を宣言するときは恐れます——参照、歴代下 20:20-22：
 - a. イエスの御名があらゆる名にまさるといふことは、一つの霊的事実です。わたしたちはそれを信仰によって、人々にだけでなく、またサタンにも宣言しなければなりません——ピリピ 2:9-11. I コリント 12:3 後半。
 - b. わたしたちは、サタンとその悪鬼どもに、イエスは主であり、主は勝利を得ており、サタンは彼の足の下に踏み砕かれたことを宣言しなければなりません——創 3:15. ヨハネ 14:30 後半. ローマ 16:20。

死に至るまでも、自分の魂の命を愛さない——天然の能力は十字架の対処を受ける

C. 彼らは死に至るまでも、自分の魂の命を愛しませんでした：

1. アダムの墮落のゆえに、サタンは自らを人の魂の命、人の自己と結合しました。サタンに打ち勝つために、わたしたちは自分の魂の命を愛さず、むしろそれを憎み、それを否定すべきです——マタイ 16:23-24. ルカ 14:26. 9:23：

マタイ 16:23 しかし、イエスは振り返ってペテロに言われた、「サタンよ、わたしから退け！ あなたはわたしをつまずかせるものだ。あなたは神のことを思わないで、人のことを思っているからだ」。

マタイ 16:24 それから、イエスは弟子たちに言われた、「だれでもわたしについて来たいなら、自分を否み、自分の十字架を負い、わたしに従って来なさい。

- a. サタンは、わたしたちが自分の力の中で行動し、自分の魂の力、天然の能力をもって自分の中で行動することを願っています。
 - b. 天然の能力は、わたしたちが本来持っていて、十字架の働きによって決して対処されたことのない能力です。
 - c. 召会の失敗は、人が自分の天然の能力を持ち込むことによります。
 - d. 十字架の目的は、わたしたちの天然の力と能力を対処することです。それは、モーセとペテロの事例で見られるように、わたしたちがあえて自分で行動しないようになるためです——使徒 7:23-30. ルカ 22:32-34. I ペテロ 5:5-6。
 - e. わたしたちが取るべき態度は、どのようなかたちであれ自己によって生きず、自分の能力を評価しないで、何の自信も持たないというものであるべきです——I コリント 2:2-4. ピリピ 3:3. 参照、イザヤ 11:2 後半。
2. わたしたちは自分を犠牲にする人、注ぎのささげ物でなければなりません。そして、天のぶどう酒であるキリストにわたしたちを満たしていただき、わたしたちを神にとってぶどう酒とならせなければなりません——ピリピ 2:17. II テモテ 4:6. 士 9:13：
 - a. 注ぎのささげ物は、キリストが真のぶどう酒として神の御前に注がれて、神を満足させる方であることを予表します——出 29:40-41。
 - b. 使徒パウロは注ぎのささげ物となって、聖徒たちの信仰のいけにえと奉仕の上に注がれました——ピリピ 2:17. II テモテ 4:6。
 - c. 注ぎのささげ物は、単にキリストご自身を予表するだけではありません。それは、天のぶどう酒としてのご自身でわたしたちに浸透して、彼とわたしたちが一になり、神の享受と満足のために、また神の建造のために注がれたキリストをも予表します——マタイ 9:17. ピリピ 2:17. II テモテ 4:6。

まとめ

男の子となって、敵を打ち破り、王国をもたらす

男の子の原則

敵を打ち破る、王国をもたらす

男の子となる

霊的な食欲を拡大させる、霊的に飢え渴く

勝利者となる

勝利することを訓練する、勝利することを経験する